中田図書新聞

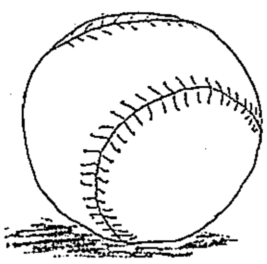
平成19年3月1日発行　第八号

中田図書新聞

主な記事から

◆ 小泉武夫氏「カラスはまずい」
◆ 周期表は増殖する
◆ 文庫目録は文庫サイズ

大リーグが開幕する。松坂が活躍する。お金がうごく。『マネーボール』



野球は金銭のゲームか

まずは王貞治氏のことからはじめたい。わたしは、巨人軍を辞しダイエーホークスの監督に就任する前の王氏にあったことがある。といっても、出版社の招待会で講師としてきておられた氏と一緒に写真をとっただけのことであるが、せっかくの機会だから"わたしがお母さんと同じ富山出身である"こと、自由ヶ丘の氏がひいきにしている焼鳥屋にいったことがある"こと、"西洋美術館にある※佐藤忠良作の頭像とそっくりで感動している"ことなどを早口で話した。いま写真を見ると全然いやそうな顔じゃない。感謝。いまさらながらに驚くのは、その体格の立派さである。大リーグへいっても十分"世界の王"だったのではないか。

さて、大リーグ。松坂大輔のレッドソックスへの移籍で盛り上がっているが、移籍について回るのがお金。移籍ははたしてレッドソックスの松坂への投資はペイするのか？06年レッドソックスは東地区3位、ヤンキースに12ゲーム差。松坂の移籍で勝ち星はどうなるんだろうか？

最近、「野球はスポーツではなく金銭のゲームになってしまった」と嘆く球団オーナーが多いとか。うーん。サッカーもそうだし、ビジネスでは資金力は重要なファクターだ。ところが、ここ数年の戦跡を眺めると、実際はそうではない。たとえば、レンジャーズ、オリオールズ、ちょっと前まではドジャーズやメッツもその仲間。大金をはたいているにもかかわらず、惨憺たる結果におわっている。その対極に位置するのが、西地区のオークランド・アスレチックス。総年棒が全チームのなかで下から数えたら早いのに、強いこと、強いこと。昨シーズンもイチローのマリナーズに15ゲーム差の地区一位。これはどういうわけか。

答えは簡単明瞭。本書『マネーボール』のなかにある。肝心なことは、どれだけ資金をもっているかではなく、どれだけ有効に使うかということにある。アスレチックスのお金の使い方は独特だ。信念と偏見に引きずられることなく、データ重視の方針が徹底されている。まるで株式の売買をやっているみたいに、選手をあつかう。でも、選手をもの扱いしているわけでなく、勘に頼らず、客観的に見ているといったほうがいい。第8章『ゴロ裁きマシーン』や第10章『サブマリナー誕生』は感動的な才能発掘物語である。本書は知恵と勇気と想像力の書である。野球に関心がなくても十分楽しめる。仕事で行き詰まっている人に読んでもらいたい。わたしは、行き詰まっているわけではないが、この二ヶ月で三度読んだ。今期はイチローの成績よりアスレチックスの成績のほうが気にかかるだろう。(蛙)

※佐藤忠良は、福音館書店「大きなかぶ」の絵の作者。女優佐藤オリエの父上。

カラスの常識、人間の非常識

カラスは一番嫌われている鳥だ。私もカラスは大嫌いだ。まず黒光りする体と攻撃性。そしてゴミを撒き散らす。全く可愛らしさの欠片もない。しかも、これからのお花見シーズンに、公園には必ずカラスが付きまとう。そこで、カラス回避に役立つ『カラスの常識』をご紹介。

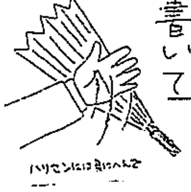
本書によると、カラスほど誤解の多い生物はないらしい。攻撃は繁殖期の子を守るための本能であり、常に攻撃することはないという。またカラスには白黒の体毛を持つ仲間もいる。それを見ると、パンダのようでなんだか愛らしい気もする。そして、最大の問題・ゴミ問題だが、カラスにとっては摂食行動。そもそも、ゴミを無造作に排出しているのは人間なのだ。カラスから見たら、人間の方が非常識に映るのかもしれない。カラスからの視点に立つことで気付かされることは多くあるのだ。(ま)

満員電車こわい

観ました、映画「それでもボクはやってない」。すごく面白かった。なので、裁判もので売れてる本2冊紹介させてください。一冊はシリアス系『裁判官が日本を滅ぼす』。日本の司法を斬る渾身の告発ノンフィクション。「それでもボク…」が好きな人に特におすすめです。肩の力を抜いて楽しみたいのが『裁判長！ここは4年でどうすか』。面白すぎて30万部突破しちゃった傑作裁判傍聴記。映画の中では傍聴マニアに批判的なところもあったので「それでも」好きには微妙ですが、難しいこと言わなきゃかなり面白い一冊です。(小)

鈍感力より"つっこみ力"？

天然ボケは天才の技！努力型のあなたには"つっこみ力"がおススメ！「つっこみ」は増幅装置。ボケを生かすも殺すも"つっこみ"しだい。部下のよいボケを批判的に(または論理的に)つぶしてしまってはいませんか？"つっこみ力"には愛と勇気と笑いが必要。よい"つっこみ"で世の中おもしろくしていきましょう！ちくま新書『つっこみ力』。正しいドツキ方が書いて



あるかと思ったら、社会学の入門書であった。日頃、データが出てきたところで思考がストップしてませんか？そんなときこそ、勇気が必要だと本書は語ってます。データを生かすも殺すも人間しだい、つっこみしだい。そういえば、同じデータを見せても、ある人は悲観的に、ある人は前向きになることは、よくありますよね？(か)

雑学は玩物喪志

ふとした疑問からいろいろ調べていくうちに、本来の目的とは違った知識がついていることがよくある。わたしが最近どうしても気にかかってしょうがなかったものはミ○キー・マウスの名の由来。最終的に迷いこんだのはヨーロッパの民族や宗教の世界。鼠はどこへ行ったやら！ちなみに読んでいたのは『人名の世界地図』。こういった書は読みはじめるととまらない。(S)

金沢本店フェア

- 春の教育書フェア(3/18〜) ご進学おめでとう
- 参考書・辞書フェア
- iPod Life
- ひとり暮らし応援フェア
- 建築模型フェア

中田図書新聞

平成19年3月1日発行　第八号

富山本店フェア

・ご入学おめでとうございます！
「推薦辞書」フェア
・ご進学おめでとうございます！
「教科書ガイド・参考書」フェア
・先生も応援します！
「春の教育書」フェア

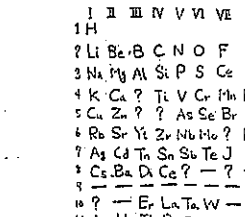
本店にて3月下旬より開催します。

完全図解周期表

ゆとり教育の名の下に、一時は中学の理科の教科書から姿を消した周期表。しかし、2005年には見事に復活を果たし、今なお化学の世界では基礎知識とされている。

周期表ができたのは1869年。この時点では63個でしたが、現在では111個に増えている。

新しい元素の誕生レポートや周期表に凝縮された化学の秘密を紹介する本がニュートンプレスから発行された。この本は2006年10月号として先に発売だったものを書籍化したものである。



最先端の研究を知るも良し。学生の頃を懐かしむも良し。付録についてくる周期表ポスターを部屋に貼って、科学の雰囲気を醸し出してみてはどうか。（太）

あなたは大丈夫？間違いだらけのダイエット

今年早速問題になった人気番組での捏造。煮え湯を飲まされた方もおられるのではないでしょうか。

何故太るのか。それは、消費カロリーよりも摂取カロリーが上回るから。更に、効率良い脂肪燃焼の為には基礎代謝が活発であること。その代謝を高めるのが、バランス良い栄養と筋肉なのです。

「〇〇だけしっかり摂れば代謝が上がって痩せる」というのは間違いです。肥満は、食事のバランスを見直し、身体を動かすことからしか健康的に改善されないものなのです。（絵）

狂いのすすめ

人は、生れ、苦しみ、そして死ぬ――。

誰にも平等に与えられた運命だ。けれども、おそらく「皆、平等な運命だ」なんて思っている人はいないだろう。貧乏、病気、様々な不運、それらを回避するための対策を考えては溜め息をつく。そんな人も少なくないのではないかと思う（そういう私は煩悩まみれです）。

でも、貧乏でないこと、病気でないことが幸せだなんて誰が決めたのだろう？――世間だ。

世間の決めた価値観に振り回されるから私たちは苦しい。狂っているのは世間の方だ。その世の中で狂者になるということは「まとも」になるということだ――ひろさちやは「狂者の自覚」を勧める。古希を迎えた著者の深みのある哲学である。

この世に生きている以上、世間の価値観から逃れることなんて出来ないけれど、「狂者の自覚」を持っているのといないのでは生き方が違ってくるだろう。（影）

文庫目録を読む

文庫目録はとても楽しい読み物である。書名・著者名で検索できるのはもちろんのこと、百字程度の解説も各社の腕の見せ所で、千ページもの大著を見事にまとめてしまうかと思えば、予想外のトンデモ解説もチラホラ。

品切れ書目が示されている目録を見て、古本屋を廻るのも愉しい（文庫はすぐ品切れになるので出た時に買っておきましょうね）。

そんな文庫ファンに朗報なのが、昨年創業百二十周年を迎えた中央公論新社が刊行した『中公文庫解説総目録1973～2006』と、今年で創刊八十年となる岩波文庫の歩みをふりかえる『岩波文庫の80年』だ。中公文庫は創刊33年で、解説もつく総目録はヴォリュームたっぷりの726ページ。圧巻なのは岩波のほうで、解説なしの書誌的データのみにもかかわらず583ページに及ぶ。刊行順全書目リスト約5400冊を文庫サイズに詰め込んだ心意気を讃えたい。

ちなみに『2002年には『新潮文庫全作品目録1914～2002』が出ていますが、こちらは辞書サイズ。やっぱり文庫目録は文庫サイズじゃなくちゃね。（文庫小僧）

未完の卒論

岩波文庫2007年春のリクエスト復刊銘柄にシラー（シルレル）『三十年戦史』を見つけた時、私は学生時代にタイムスリップしてしまった。当時卒論のテーマに「神聖ローマ帝国国制史」を決めていた私は対象時代をどこに設定しようか迷っていた。探していた参考文献の一つが見つからなかったからである。その文献が『三十年戦史』だった。論文などに参考文献として挙げられていた本書をついに手にすることができず私は、第一候補の「三十年戦争期」を断念した。もちろん卒論の対象文献は本書だけではなかったが、どうしても読まずに手をつける気にはならなかった。

『聞けば1988年以来の重版だという。見れば初版は1943年で、翻訳は1940年に開始されたらしい。字体も旧字体で読みにくいことこの上ないが、時代を超え、頭の中では未定のもうひとつの卒論が書き始められている。（迫）

サクラサク

受験生の皆様、おつかれさまでした！特に高校生の皆さんは、履修不足問題が表面化したため、大変な後半だったと思います。履修不足問題は受験に不必要な科目は教えないという、現代の受験制度が生んだ弊害でした。これより前、この制度に強い懸念を抱いていた東大の先生は2001年『高校生のための金曜特別講座』を開講し、そしてこの程『高校生のための東大授業ライブ』が出版されました。授業の内容も興味深いものですが、大学の教員であり研究者でもある先生方の、生身の姿を窺い知ることができ、漠然とした大学というものが、興味ある学問の探求の場として俄然身近に感じられます。と同時に、何のための大学受験か、改めて考えさせられる一冊です。（弘）

映画とクラシックの関係は油揚げとわかめに似ている!?

映画ファンならクラシックを聴かないのはもったいない。クラシックを楽しむ「耳」はもう出来上がっているはずだからである。

クラシックファンだと自称する人は少ないが、「ツァラトゥストラはかく語りき」のように、映画で使われたクラシック曲は多くの人の記憶に残っている。これは、映像がついていることにより、曲の印象が増幅される効果があるからである。そんな、音楽と映像の関係性をキーワードに書かれた本が『映画でクラシック！』。クラシック入門書の次に読むくらいが適切な本である。（浜）

掲載の書籍は、金沢本店・富山本店で在庫しています。また他の支店でも取り寄せできます。ご利用下さい。

編集後記：先月号が北日本新聞の「天地人」にとりあげられて、突然人気がでた。バックナンバーの要望が多数あり、あわてて増刷することとなった。新聞は読者が命だ。読んでくださる方がふえると原稿にも力がはいる。「天地人」氏に感謝。

BOOKS NAKADA　KOHRINBO 109 BF1　TEL: 076-220-5011
BOOKS NAKADA　KAKEO HONTEN　TEL: 076-492-1192